

# 核都市広域幹線道路

(埼玉新都心線～東北道付近)

ポータルサイト  
はコチラ↓

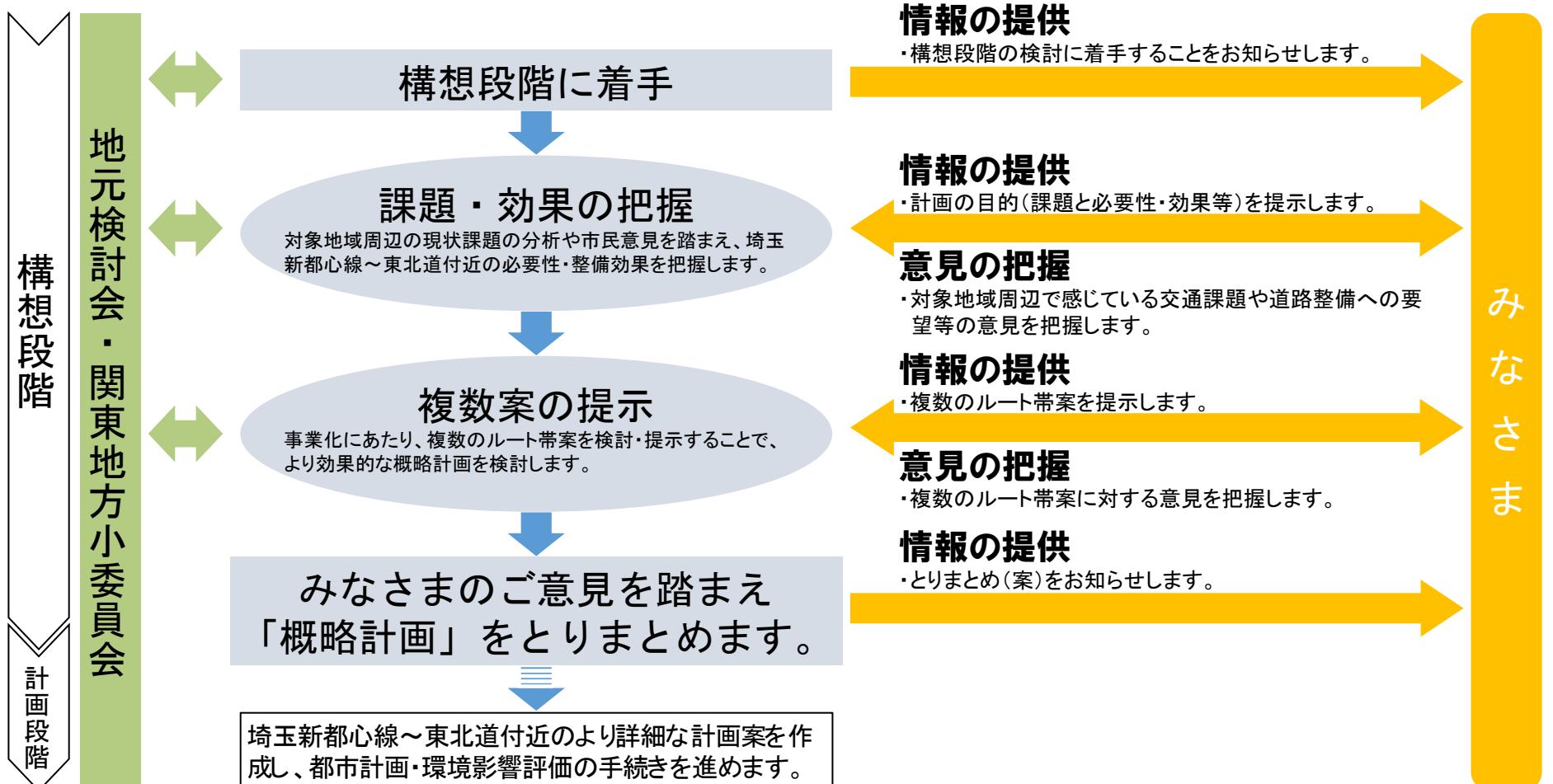


- 核都市広域幹線道路は圏央道と外環道の概ね中間に位置する道路です。
- 埼玉県南部における慢性的な混雑の改善が期待されます。
- 今回みなさまへ情報提供を行い、今後みなさまから寄せられたご意見を学識経験者等で構成する地元検討会へ反映して進めていきます。

## ■ 検討区間の概要



## ■ 概略計画の検討の進め方



# 核都市広域幹線道路

(埼玉新都心線～東北道付近)

ポータルサイト  
はコチラ↓



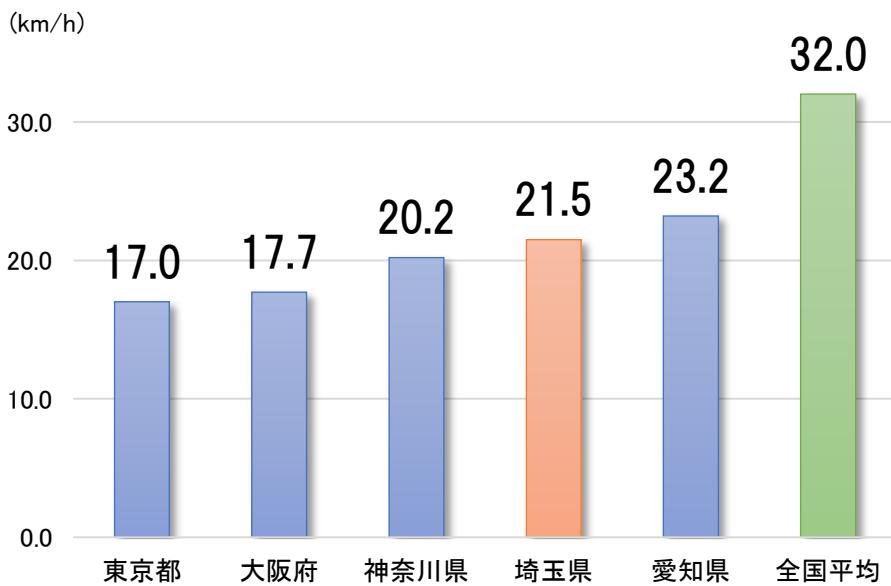
## (渋滞)

○埼玉県は混雑時旅行速度が全国ワースト4位です。

○外環道（千葉県区間）の開通により、

外環道（埼玉県区間）の渋滞損失時間は約3.4倍になっています。

### ■都道府県別混雑時旅行速度



出典：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査

### ■渋滞損失時間の変化（自動車専用道路）

地域	外環開通前 (平成30年)	開通1年後 (令和元年)	開通2年後 (令和2年)	開通3年後 (令和3年)
外環道	4.4 万人時間/年km	15.1 万人時間/年km (平均の2.5倍)	8.8 万人時間/年km (平均の1.5倍)	13.6 万人時間/年km (平均の1.7倍)
埼玉県 平均	4.6 万人時間/年km	6.1 万人時間/年km	5.8 万人時間/年km	8.0 万人時間/年km

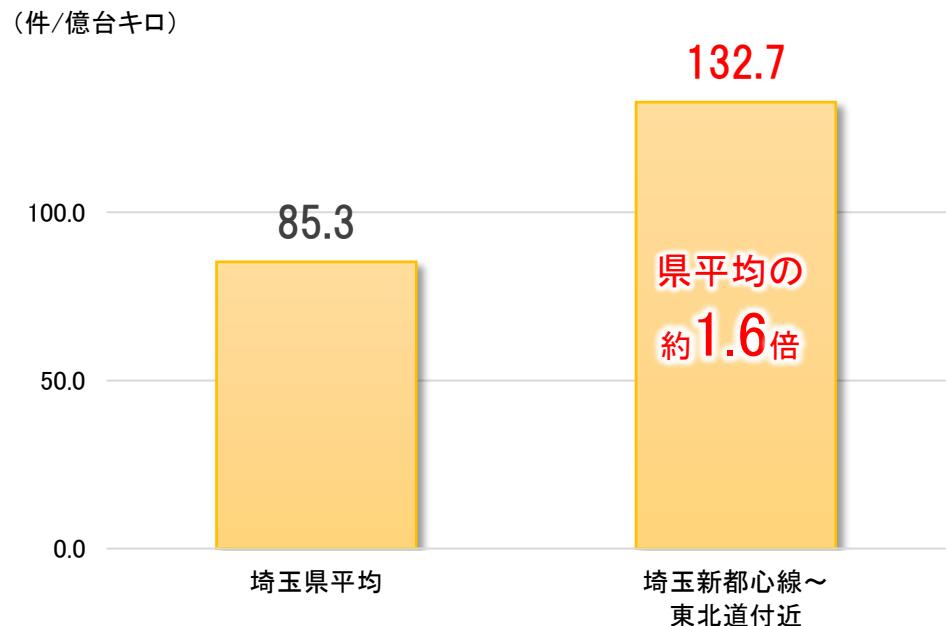
出典：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査、ETC2.0プローブ

## (事故)

○埼玉新都心線～東北道付近の死傷事故率は、

約132.7件/億台キロで県平均の約1.6倍です。

### ■死傷事故率



出典：イタルダデータ(センサス区間別データ)  
※政令市の一般市道以上を対象に集計



# 核都市広域幹線道路

(埼玉新都心線～東北道付近)

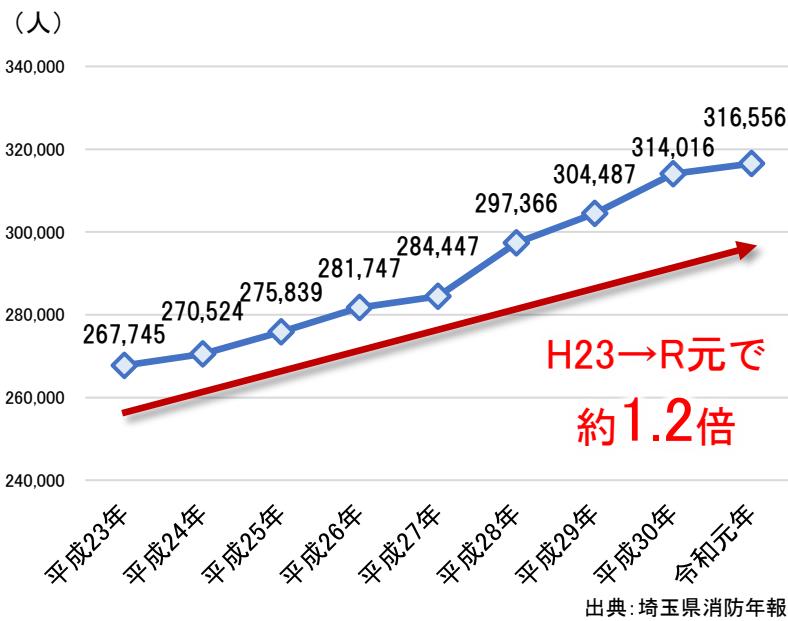
ポータルサイト  
はコチラ↓



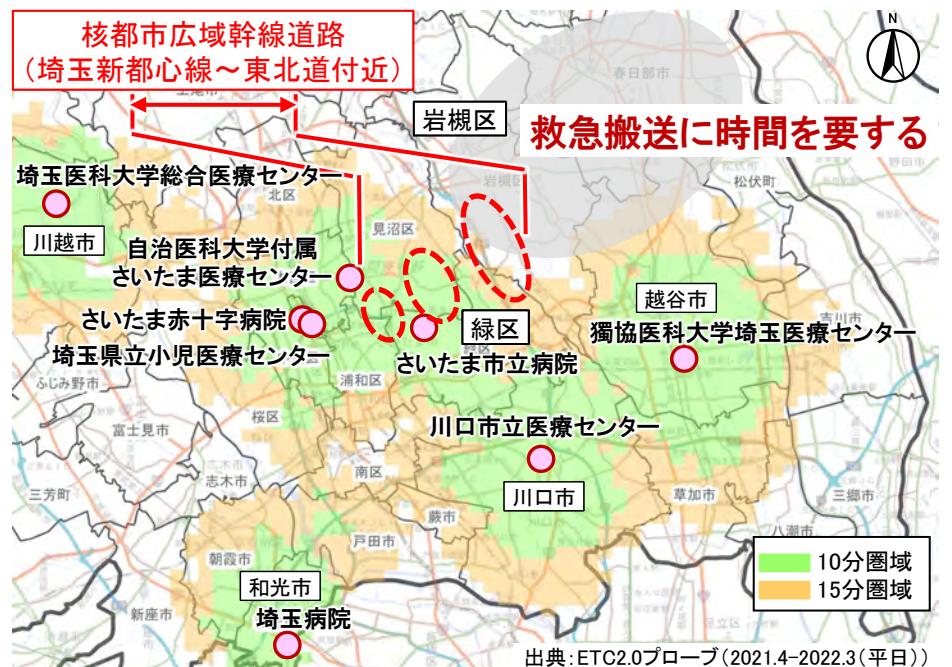
## (医療連携)

- 埼玉県の救急搬送人員は、平成23年から令和元年にかけて約1.2倍に増加しています。
- さいたま市岩槻区や緑区の一部等では、第三次救急医療施設への救急搬送に時間を要しています。

### ■ 埼玉県の救急搬送人員の推移



### ■ さいたま市周辺の第三次救急医療施設と到達圏域



## (災害)

- 近年、埼玉県では風水害に見舞われおり、さいたま市内でも大規模な被害が発生しています。
- 防災拠点が集積するさいたま市中心部と南北方向に縦貫する第一次緊急輸送道路を結ぶ東西方向のネットワークが脆弱です。

### ■ 近年の埼玉県での被災状況

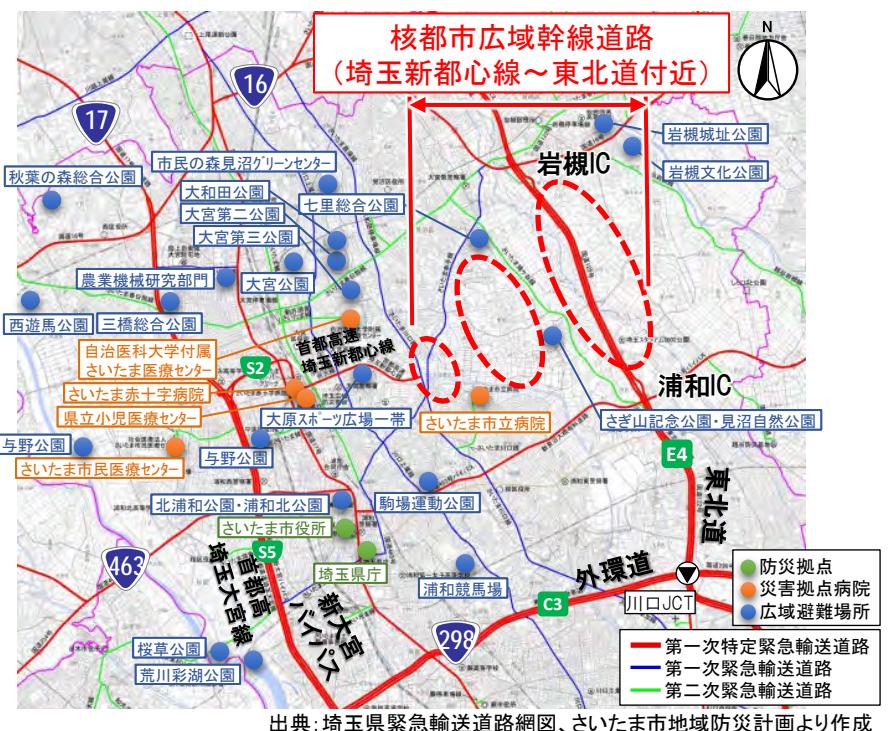
- 令和元年東日本台風
  - ・ 県内気象台14箇所のうち11箇所で既往最大の降雨を記録
  - ・ さいたま市内の被災:
    - 全壊 (2件) 半壊 (2件) 床上浸水 (968件) 床下浸水 (392件)
- 平成29年台風21号
- 平成28年台風9号
- 平成27年関東・東北豪雨
- 平成26年台風18号



平成26年台風18号による冠水

出典: さいたま市資料

### ■ 緊急輸送道路及び防災拠点



国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所



埼玉県



さいたま市

# 核都市広域幹線道路

(埼玉新都心線～東北道付近)

ポータルサイト  
はコチラ↓

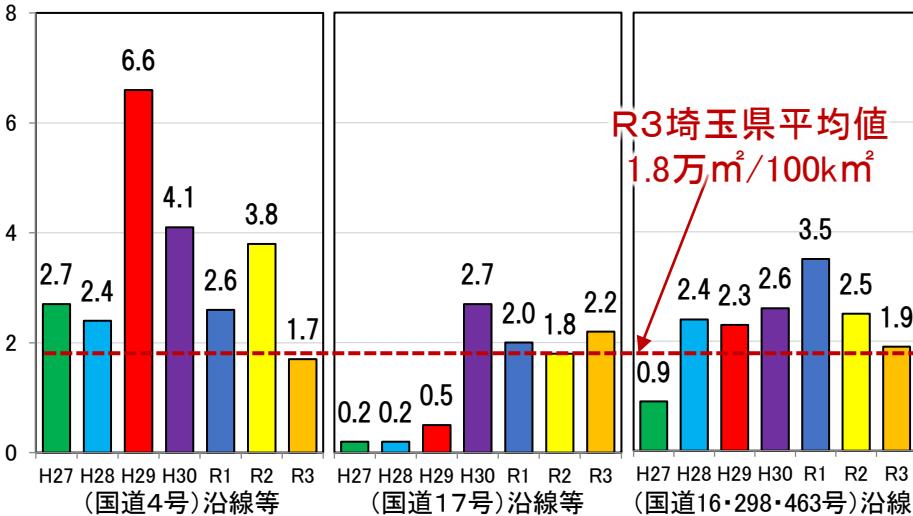


## (企業進出、人口増加)

- 物流施設の新規立地は、近年、国道17号沿線や国道16・298・463号沿線で県平均を上回っています。
- 各路線沿線では、人口密度が増加しています。

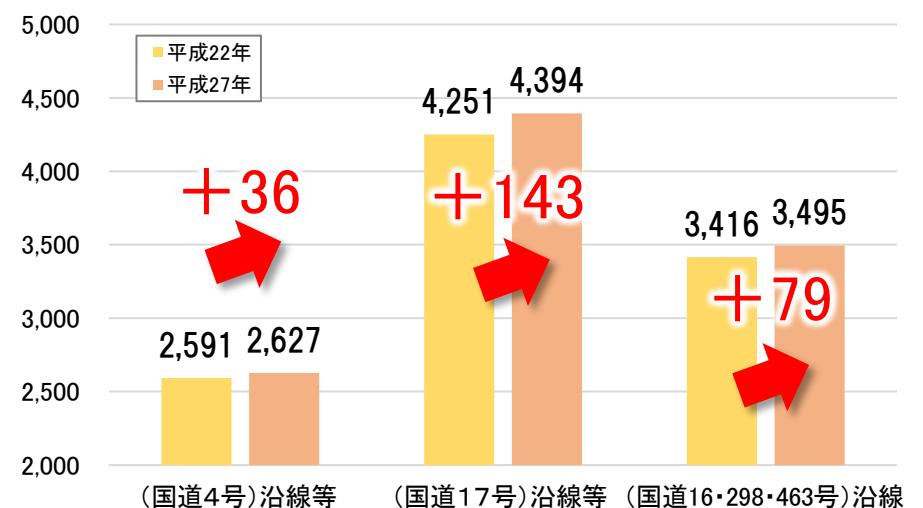
## ■平成27年以降の新規企業立地計画の推移 ■沿線における人口動向

(万㎡/100km<sup>2</sup>)



出典：H28～R3 日本立地総覧(日本立地ニュース社)

(人/km<sup>2</sup>)



出典：H22、H27国勢調査

## (観光)

- さいたま市内の国道17号沿線付近には、国際会議場や寺社・仏閣、博物館等の主要な集客施設が集中するエリア\*が存在します。
- 東北道岩槻ICから当該エリアへのルート上は、休日に県平均未満の速度低下が発生し、イベント時は更なる速度低下が発生しています。

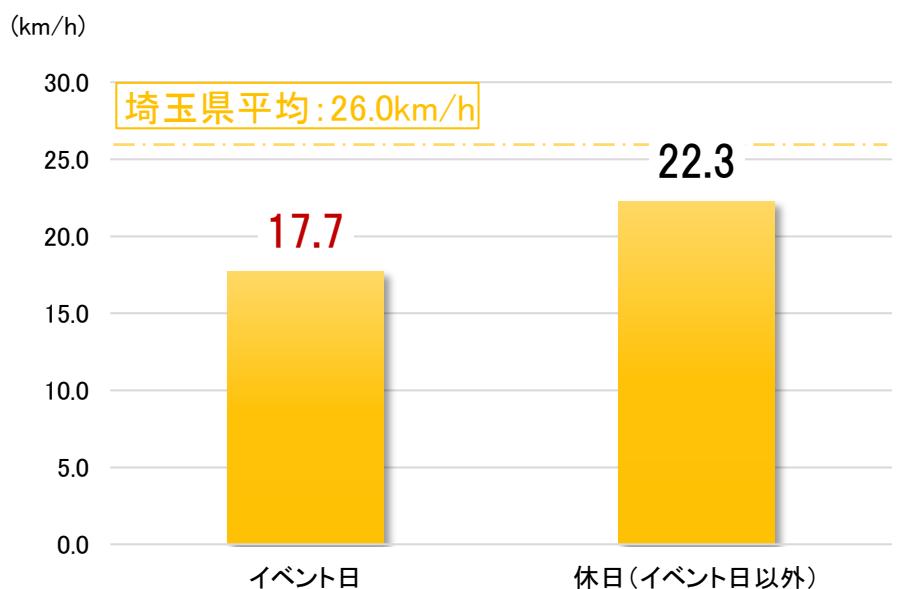
\*主要な集客施設が集中するエリア：さいたま市大宮区、中央区、浦和区

## ■主要な集客施設



出典：さいたま国際観光協会HPより抽出

## ■岩槻IC～主要な集客施設が集中するエリアの平均旅行速度



出典：ETC2.0プローブ(2021.4～2022.3)  
イベント日：さいたまスーパーアリーナでのイベント開催日  
(岩槻IC～国道16号～県道2号～国道17号交差点)



国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所



埼玉県



さいたま市

# 核都市広域幹線道路

(埼玉新都心線～東北道付近)

ポータルサイト  
はコチラ↓



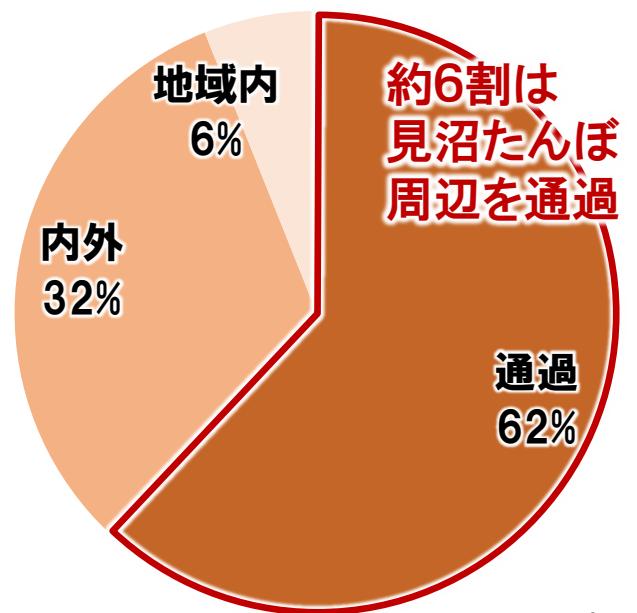
## (生活環境)

- 見沼たんぼ周辺の生活道路は、通勤・通学時間帯等に抜け道として利用されています。
- 抜け道を利用する交通のうち、約6割は見沼たんぼ周辺を通過し、生活交通（地域内・内外）との錯綜が生じています。

### ■見沼たんぼ周辺の生活道路の交通状況



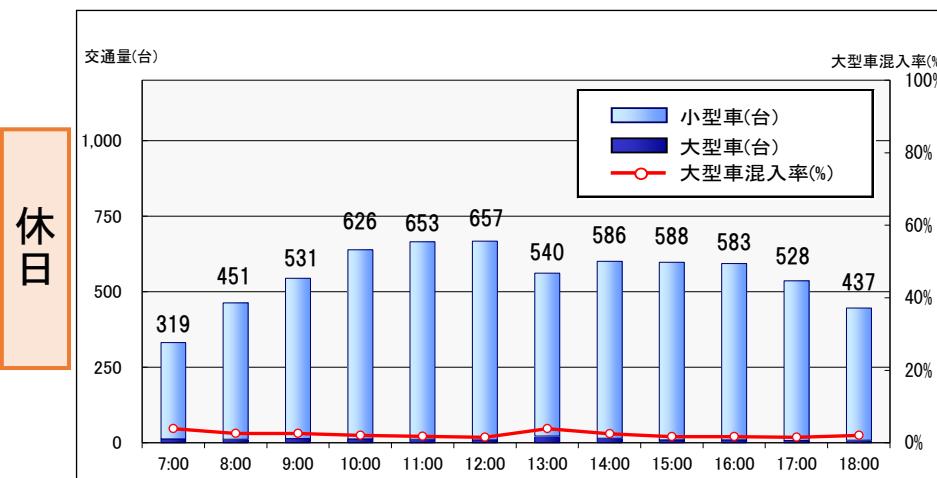
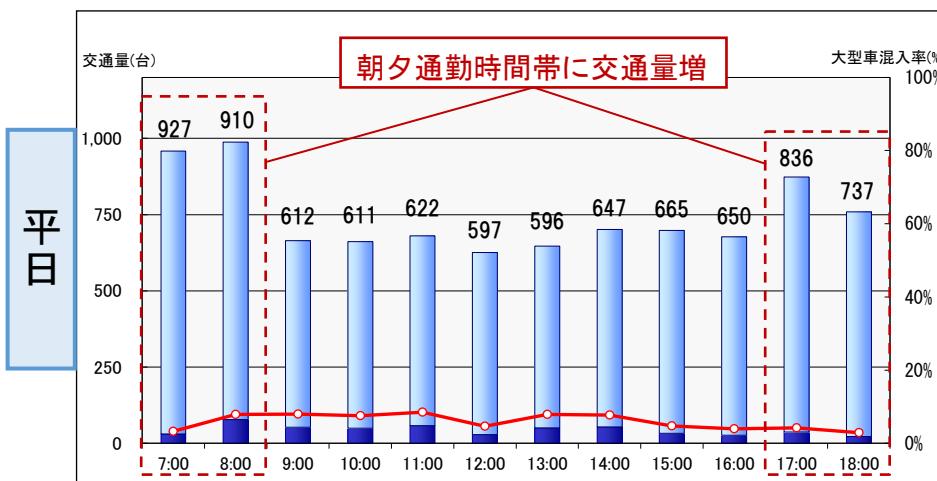
### ■見沼たんぼ周辺の生活道路の利用交通内訳



N=7,423サンプル

出典: ETC2.0プローブ(2021.6(平日))  
※見沼たんぼ周辺: 県道1号～県道105号

### ■見沼たんぼ抜け道の交通量



出典: 交通量調査結果(平日: R4.6.14(火)、休日: R4.6.12(日))

### ■見沼たんぼ周辺道路の交通状況



# 核都市広域幹線道路

(埼玉新都心線～東北道付近)

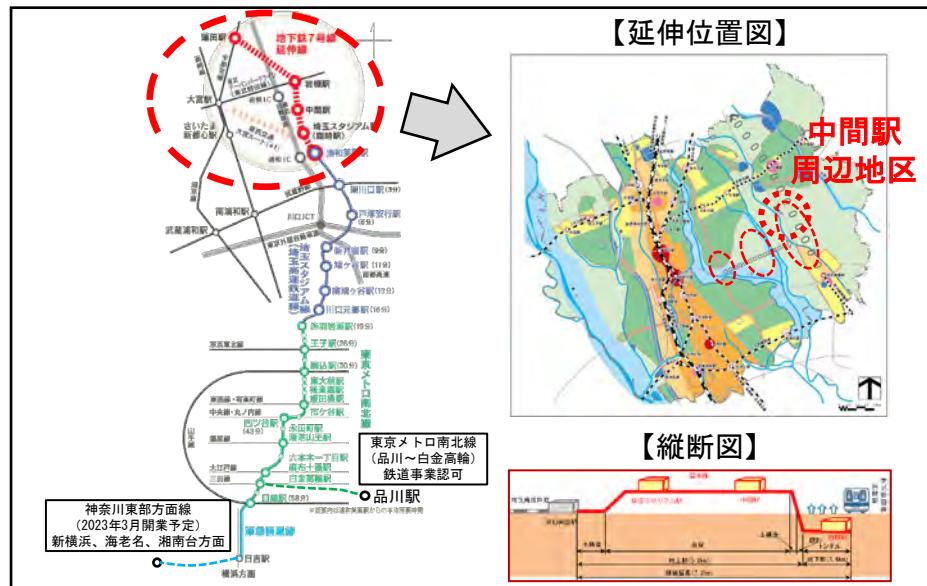
ポータルサイト  
はコチラ↓



## (地下鉄7号線の延伸計画)

- 地下鉄7号線は、先行して浦和美園駅～岩槻駅まで将来的には蓮田駅までの延伸が計画されています。
- 道路網や公共交通網の発達など、さいたま市域のさらなる利便性向上により、地域開発や人口定住の促進が想定されます。

### ■地下鉄7号線の整備計画



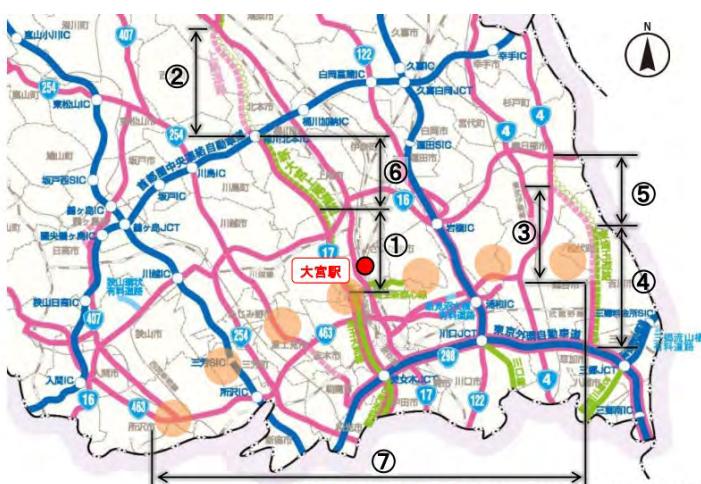
### ■中間駅のまちづくり



## (交通拠点の機能強化に関する整備方針の検討)

- 大宮駅周辺地域は幹線道路や高規格幹線道路へのアクセスが容易で「道路交通の要衝」となっています。
- 大宮駅西口において、大宮駅周辺の交通結節機能の強化などに向けた事業計画の具体化を図ることを目的として大宮駅西口交通結節点事業計画検討会にて整備方針を検討中です。

### ■大宮駅周辺の主な道路網と道路事業 (埼玉県)



主な事業中路線		主な計画・構想路線	
①新大宮上尾道路(与野～上尾南)	:H28年度事業化、延長8.0km	⑤東埼玉道路(専用部)	
②上尾道路Ⅱ期	:H23年度事業化、延長9.1km	⑥新大宮上尾道路(上尾南～桶川北本)	
③東埼玉道路延伸(一般部)	:H20年度事業化、延長8.7km	⑦核都市広域幹線道路	
④東埼玉道路延伸(専用部)	:R2年度事業化、延長9.5km		



### ■高速バス乗降り環境



# 核都市広域幹線道路

(埼玉新都心線～東北道付近)

ポータルサイト  
はコチラ↓



- 埼玉新都心線～東北道付近では、見沼たんぼ、斜面林、見沼自然公園、さぎ山記念公園、緑のトラスト保全第1号地などが点在しています。
- 見沼代用水東縁や見沼くらしっく館など、見沼たんぼの文化資源や文教施設や病院、寺社・仏閣等が点在しています。

## ■埼玉新都心線～東北道付近の土地利用



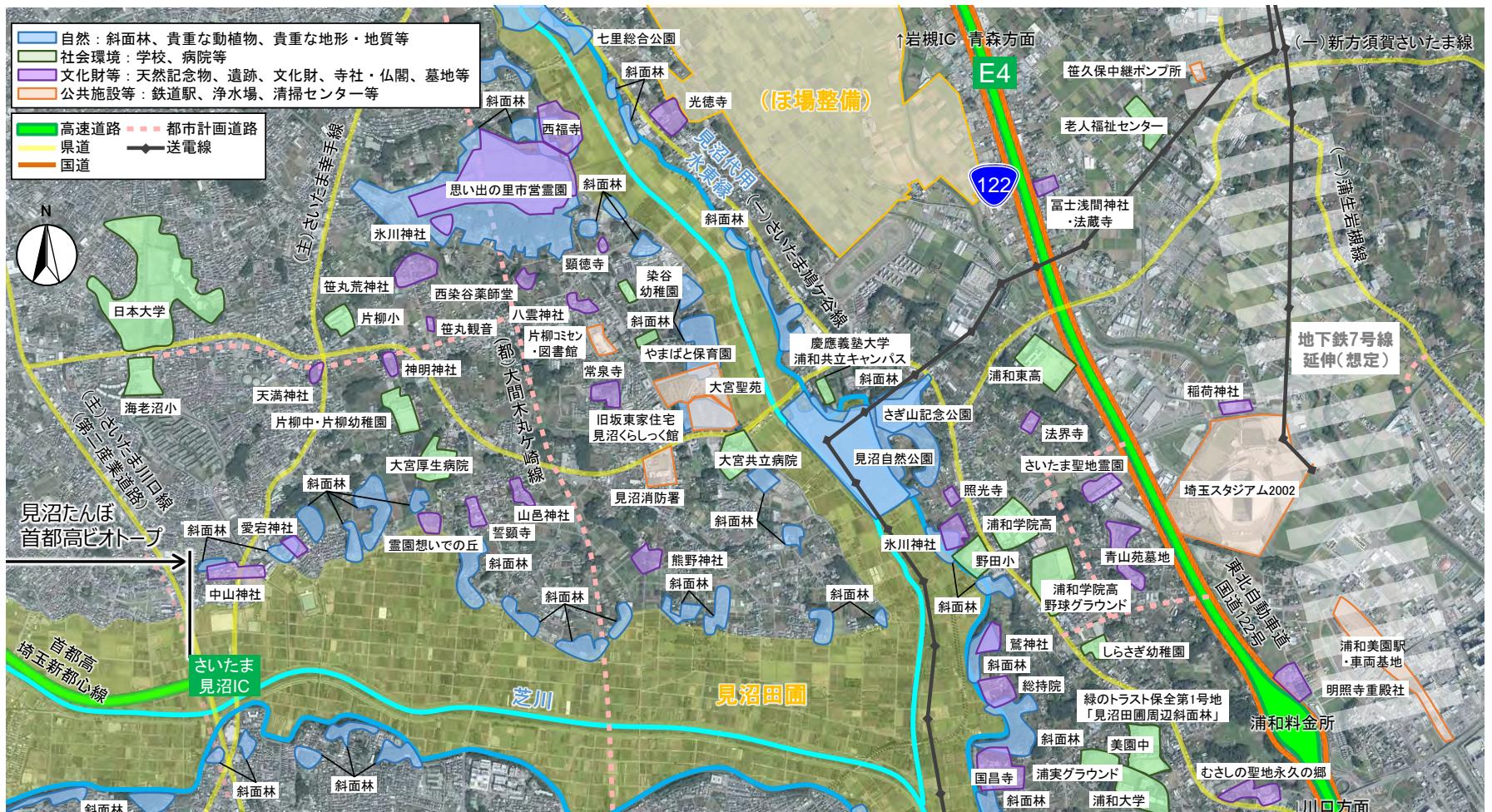
見沼たんぼ



緑のトラスト保全第1号地



見沼自然公園



さぎ山記念公園



見沼代用水東縁



見沼くらしっく館

出典:さいたま市HP



国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所



埼玉県



さいたま市

# 核都市広域幹線道路

(埼玉新都心線～東北道付近)

ポータルサイト  
はコチラ↓



○見沼たんぼは、さいたま市、川口市の2市にまたがる面積約1,260haの大規模な緑地空間です。

○道路整備計画を検討する際は、これらの自然環境の保全・創造に配慮する必要があります。

## ■見沼たんぼの観光資源



出典:「見沼たんぼ全域マップ」さいたま市

## ■斜面林の保全活動



## ■見沼たんぼの歴史

- 1629年 農業用水をためるための八丁堤が築造され灌漑用水池(見沼溜井)が完成
- 1727年 見沼溜井の干拓から見沼たんぼが誕生。利根川から用水を引き込む見沼代用水を整備
- 1958年 台風22号で大規模な水害が発生。見沼たんぼの遊水機能により、下流域の被害を抑える役割を果たした。
- 1965年 見沼たんぼは、治水上の観点から開発抑制を求める動きがあり見沼たんぼの宅地化を原則認めない「見沼三原則」を制定。
- 1990年 埼玉県が緑のトラスト保全第1号地「見沼たんぼ周辺斜面林」の土地を取得し、保全を開始。
- 1995年 「見沼田圃(たんぼ)の保全・活用・創造の基本方針」策定
- 1998年 「公有地化推進事業」の開始
- 2003年 「見沼新時代へ—見沼たんぼの将来像とセントラルパーク基本構想に関する提言」策定
- 2011年 「さいたま市見沼基本計画」策定
- 2012年 「さいたま市見沼基本計画」の着実な実施に向け「見沼田圃(たんぼ)基本計画アクションプラン」を策定
- 2016年 「見沼・さぎ山交流ひろば 運営協議会」設立

## ■見沼・さぎ山交流ひろば



## ■これからの見沼 ～見沼新時代～

人と自然の共生、都市と自然の共存という新たな段階の時代へ農業生産の場を維持しつつ、市民共有の環境資産として認識する時代、すなわち「見沼新時代」です。

### 写真コンクール



### 見沼たんぼクリーンウォーク



### アクティブラーニング 探索学習



出典:さいたま市資料



国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所



埼玉県



さいたま市